

我孫子市環境レンジャー通信
No73
(平成31年1月発行)

たまっけ

(発行)
我孫子市環境レンジャー
(連絡先)
我孫子市手賀沼課
04-7185-1111(内線468)

「たまっけ」とは昭和35（1960）年頃まで手賀沼でもたくさん棲んでいたカラスガイのことで、今はほとんど見られません。環境レンジャーは、我孫子の自然環境を市民に伝え、市民といっしょに考え、守り育ててゆくために結成されました。みなさん、いっしょに美しい我孫子を守り育てましょう。

《特集》 手賀沼賞エコ・こども教室 2018

手賀沼賞受賞作品発表会報告

(環境レンジャー 佐藤 美次)

今年で11回目となる手賀沼賞受賞作品発表会は「あびこ子供まつり2018」の会場であるアビスタの第1学習室において、さわやかな秋晴れとなった10/21(日)に開催されました。発表された受賞作品は教育委員会主催「科学作品展」の手賀沼賞受賞作品(16作品)から、環境レンジャーが選定した5作品の研究報告です。この発表会の目的は、生徒たちに研究報告発表の機会を設け、多くの人々に手賀沼周辺の環境と魅力を広めることです。

発表会の開式時には発表者のご家族、お友達や学校関係者など総数53名の参加者で会場はほぼ一杯となりました。発表に先立ち我孫子市の倉部教育長から「手賀沼の環境も少しずつ良くなって来ていますがこれからも粘り強い研究を期待しております。」との激励の挨拶のあと、順次発表に移りました。

演台に立った各発表者は発表前の緊張した雰囲気など吹き飛ばすかのように堂々と自信に満ちたわかり易い説明で参加者に感銘を与えていました。さらに資料として準備されたスクリーン上のパワーポイントも力作で内容がわかり易くまとめられておりました。コメンテーターの木村氏、染谷氏、松本氏の各氏からも「独自の視点で粘り強く検体を採取し系統立てて検証し真夏の酷暑のなか納得するまで実験を行った結果のすばらしい成果であり、感動しました。これからもさらなる研究を続けてほしい」との賞賛の講評をいただき、盛況のうちに今年の発表会を終えることができました。

平成30年度 我孫子市小中学校 科学作品展「手賀沼賞」入賞者一覧

番号	作品名 (◎:エコ・こども教室発表作品)	学校名	学年	氏名
1	てがぬまのいきもの	第四小	小1	平野 彰人
2	◎ぼくが見つけた手賀沼自然図鑑	湖北台東小	小2	岡本 健一郎
3	びっくり花火大会	第三小	小3	田口 聖真
4	てがぬまコリントゲーム	第四小	小3	内田 惺乃祐
5	我孫子の鳥 オオバンは消えてしまったのか?	高野山小	小4	赤津 駿介
6	◎手賀沼の水質変化を探る	根戸小	小4	原 陸帆
7	◎手賀沼プランクトン図鑑	第三小	小5	岡野 比侶
8	防災ろ過器 ～手賀沼の水は飲めるのか～	第一小	小6	三次 賢人
9	手賀沼の鳥	第二小	小6	近藤 秀哉
10	ホテイアオイの観察 ～ホテイアオイは手賀沼の水の浄化に役立つか?～	我孫子中	中1	荒谷 茉緒子
11	◎ハスが手賀沼に及ぼす影響 ～微生物の観察による検証～	我孫子中	中1	赤津 沙耶花
12	手賀沼 vs 印旛沼 vs 古利根沼	湖北中	中2	高橋 未羽
13	生活排水の改善から手賀沼の浄化を考える③ ～汚水の浄化にはどのような方法が考えられるか～	久寺家中	中2	諸川 由依
14	手賀沼周辺の植物から3年間のまとめ	我孫子中	中3	秋葉 翔太
15	◎手賀沼の植物 ～9年目 集大成の夏～	湖北台中	中3	古川 希
16	プランクトンから水質浄化を考える	我孫子中	中3	大脇 拓也

《特集》手賀沼賞エコ・こども教室 2018

発表作品の紹介①

『ぼくが見つけた手賀沼自然図鑑』

湖北台東小学校 2年 岡本 健一郎

＞作品のあらまし

研究の動機は、日頃から図鑑を見るのが大好きで、自分で観察した動植物の図鑑を作りたいと思った。

1年生の時は手賀沼と谷津中央公園の2箇所を観察をしましたが、今年は手賀沼に絞りたい多くの生き物を観察することにした。観察した生き物を、鳥類・植物・昆虫・水生生物に分類し、その属する目・科を調べ、観察した生き物を写真に記録したり、生き物の特徴や動性などの様子を調べてまとめた。

＞作品の優れた点

手賀沼周辺の6箇所にわたり観察できた生き物は鳥類11種、植物6種、昆虫5種、水生生物7種の合計29種に上りました。図鑑に載せるためそれぞれの生き物の写真をとりましたが、暗かったり遠くて小さく写り具合が余り確認し難い生き物は色合いなど細かくその特徴を表現した絵を画いて補足しました。

また生き物の住んでいる場所やハスの花が朝咲いて午後には閉じるなどの動性を十分観察し、またザリガニの捕まえ方など、その特徴を上手に観察して表現した手賀沼自然図鑑を作り上げました。

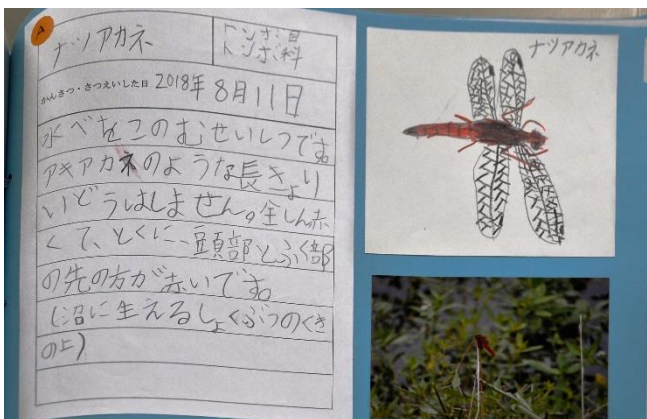
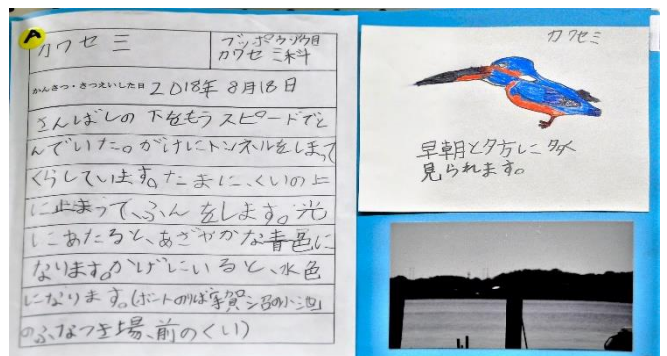
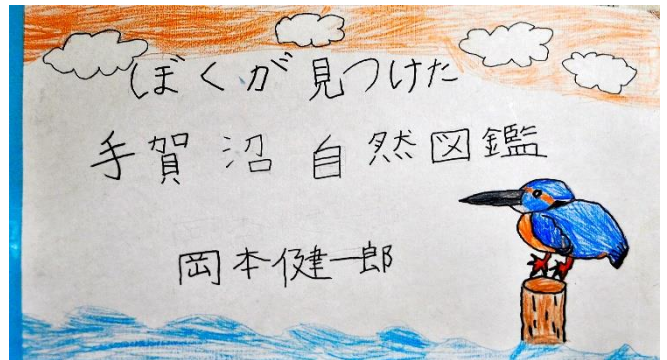
＞推薦理由

1年生から取組んでいる自然図鑑です。今年は手賀沼に絞り手賀沼に生息する生き物、鳥類・植物・昆虫・水生生物と合計29種も観察出来ました。

加えてその生き物の生態・動態を詳しく観察し記録し、特に写真ではなかなか解り難い生き物を、絵を画いて表現していることは、注意深く観察しないと出来ないことでその努力と熱意に敬服します。

手賀沼にはまだまだたくさんの生き物が生息しています。一段と進化した図鑑が出来ることを期待しています。

推薦者：環境レンジャー 荻野 茂



色使いもきれいですね！

「手賀沼賞エコ子ども教室の感想」

湖北台東小学校 2年 岡本 健一郎

ぼくは、昨年と今年の自由研究で二年れんぞくで図鑑をつくりました。今年の夏休みは、昨年のかんさつ場所だった中央公園、手賀沼周辺、谷津の三カ所からかんさつ場所を手賀沼にしぼり、鳥類、植物、昆虫、水生生物の四つの項目で29種類の動植物についてかんさつしたこと(とくちょう、その時のようすなど)をしらべてまとめました。

この図鑑を作るためにぼくは、ま夏の中、おもいカメラを首にさげて、鳥などをまちぶせし、にげないように上手くしゃしんをとり、家でよう子を考えて、書くことにくろうしました。生き物を見つけても、にげてしまったり、しんでいたり生き物さがしは、とても大へんだなあと思いました。

くふうをしたことは、とくちょうがわかりづらい生き物は絵をかいてのせたことです。これをきっかけに、ぼくは絵をかくことが好きになりました。

10月21日、エコ・こども教室で発表することができ、とてもうれしく思っています。はじめての発表なのでとてもきんちょうしましたが、練習のせいがあり、上手く発表できて安心しました。

手賀沼にはまだまだたくさんの生き物があるので、今後もかんさつを続けて行きたいです。

《特集》 手賀沼賞エコ・こども教室 2018

発表作品の紹介②

『手賀沼の水質変化を探る』

根戸小学校 4年 原 陸帆

➤作品のあらまし

手賀沼の水質変化の研究になります。4か所を選び、仮説を立て、臭いや濁りなどの状態調査や、分析用薬品などを使った8項目の調べを、日時を変えて2回も行き、場所毎の汚れ具合を表やグラフで分かりやすくまとめた研究です。

4か所で水質が一番良かったのは北千葉導水路第二機場付近になり、汚れが一番ひどかったのは雨水が流れ込む手賀沼公園流入口という結果でした。成果として人間は他の生物達のためにも、勝手に水資源を汚してはダメと警告しています。

➤作品の優れた点

手賀沼の研究は、2年生の時に水生生物を、3年生でプランクトンを調べ、多くの生物が生息していることを知りました。そこで生物が生きて行くのに必要な水の特徴は何かを知りたいと思っていたところ、学校で水質の問題や利根川の水の導水を学んだことで、自分から疑問を解決しようと取り組んでいます。

自分で課題を見つけ出して、継続して調査を進める探求心には感心します。

➤推薦理由

2年生から続いている手賀沼の水に関する研究。学年を追う毎に研究テーマを進展させ、得た成果だけでなく新たな疑問とか提言もまとめている努力は素晴らしいです。また、暑い中を自転車で18kmも移動しての研究に、汗の結晶が感じられます。

研究成果から活動するお友達が増え、少しでも手賀沼の水が改善されると良いですね。

推薦者：環境レンジャー 櫻井 潤

手賀沼賞エコ・子ども教室の感想

根戸小学校4年 原 陸帆

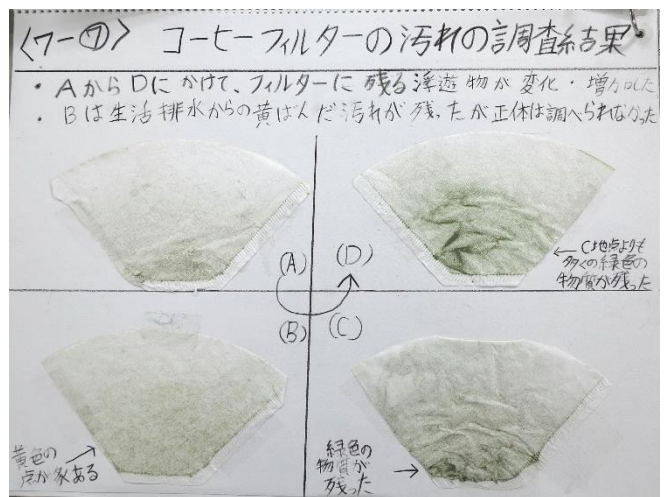
手賀沼賞に選ばれた時、喜びの気持ちで胸がいっぱいになりました。苦勞が報われたなあと思いました。最も苦勞したことは、18キロも自転車をこいだことです。夏の暑い日に、汗だくになりながら、手賀沼の水をとりにいきました。一度ではなく、何度もちようさにいきました。途中で夕立にあったこともありました。

パソコンを使って研究を発表することが決まった時は、不安になりました。今まで発表をしたことがなかったからです。家で何度も練習しました。本番は練習どおり上手く言えました。とても達成感がありました。

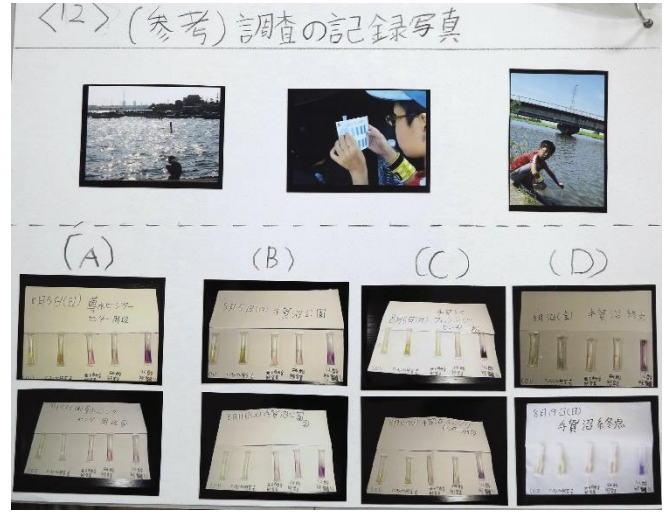
発表を終え、僕が研究して感じたこと、考えたことを共感してくれるコメントをもらえて嬉しくなりました。これからも頑張っていこうと思いました。他の人の発表では、何年も続けている研究もありました。僕も一年以上の時間をかけた研究にも挑戦してみたいです。

〈6〉 調査結果一覧

地点	調査日	天気	気温	水温	におい	透明度 (cm)	CO ₂ (mg/L)	溶存酸素 (mg/L)	pH	硝酸窒素 (mg/L)	亜硝酸窒素 (mg/L)	アンモニア窒素 (mg/L)	その他
北千葉導水路第二機場付近(A)	8月5日	晴れ	35	31	ほろ(ない)	31	5	0.2	0.04	0.7	0.1	0.1	少(緑のみ)
	8月10日	晴れ	30	24	ほろ(ない)	35以上	2	0.2	0.03	1	0.07	0.1	少(緑のみ)
手賀沼公園下水出口(B)	8月5日	晴れ	35	33	植物のにおい	22	8以上	0.7	0.01	0.3	0.3	0.3	多(緑のみ)
	8月10日	晴れ	31	31	植物のにおい	24	7	0.3	0.01	0.6	0.1	0.1	多(緑のみ)
手賀沼畔木倉付近(C)	8月5日	曇り	30	30	植物のにおい	15	7	0.2	0.007	0.1	0.3	0.3	多く(緑のみ)
	8月10日	晴れ	29	31	植物のにおい	17	7	0.4	0.01	0.2	0.3	0.3	多く(緑のみ)
下終末処理第二機場付近(D)	8月5日	晴れ	35	33	植物のにおい	20	7	0.5	0.005	0.1	0.2	0.2	多(緑のみ)
	8月10日	晴れ	26	28	植物のにおい	15	7	0.2	0.004	0.1	0.1	0.1	多く(緑のみ)



水生生物、プランクトン、そして水質と、継続は力なり！だね。よい研究テーマだと思います。



《特集》 手賀沼賞エコ・こども教室 2018

発表作品の紹介③

『手賀沼プランクトン図鑑』

第三小学校 5年 岡野 比侶

➤作品のあらまし

授業で顕微鏡を使って初めてプランクトンを見た。
いろんなプランクトンを見たいと興味がわき手作りのプランクトンネットを作成した。
手賀沼の水をすくい、プランクトンを顕微鏡で観察し、その結果を写真に撮り、名前を調べ、それらを種類別にまとめ、手作りの図鑑として作成した。

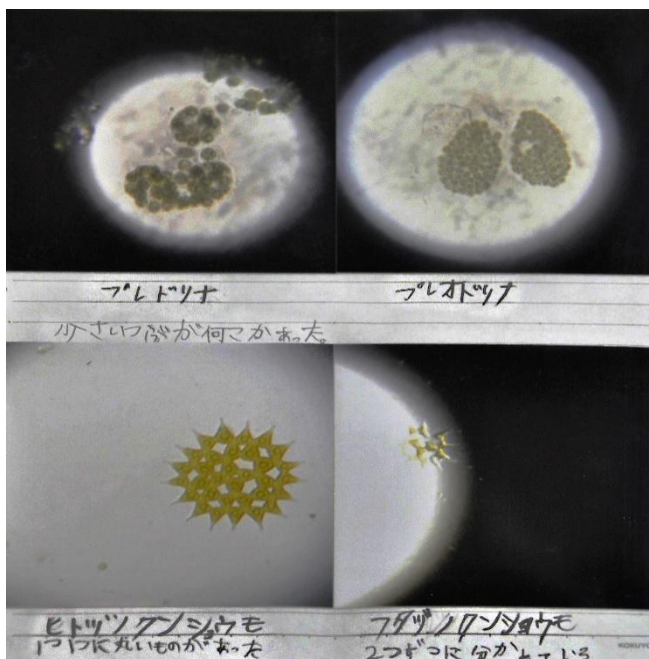
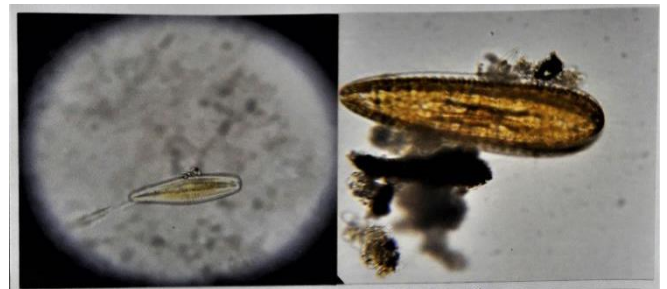
➤作品の優れた点

あるイベントでプランクトンネットの作り方を学び、家庭にあるペットボトルや、排水口ネットや透明ホースなどを利用し、苦勞しながらプランクトンネットを作りだしたこと。
手賀沼の水をすくうのに50回も投げ入れたこと。
顕微鏡で何種類かのプランクトンを写真にとり名前を調べ種類ごとにまとめました。
花のような形や縞模様が入ったものや、警察のマークに似たもの、形のよく似たものなど、さまざまなプランクトンを根気よく調べました。

➤推薦理由

目には見えない手賀沼に住むさまざまなプランクトンの姿を顕微鏡を通して写真にとり図鑑にして発表しました。顕微鏡で覗く世界は驚きであり新たな興味の対象になった事でしょう。
今後は手賀沼だけでなく色んなところで採集して調べて見たいということですので、期待しております。頑張ってください。

推薦者：環境レンジャー 谷内 トヨ子



写真の撮影技術もすごいですね！

手賀沼賞エコ・子ども教室の感想

第三小学校 5年 岡野 比侶

学校のけんび鏡の授業でプランクトンを見て、もっと色々なプランクトンを見たいと思い、身近な手賀沼で調べてみようと思いました。

始めはあまりプランクトンが見られなくてくじけそうになりましたが、採取場所や方法を変えてみると見られるようになり、楽しくなってきた、なんとか完成させることが出来ました。夏休みの暑い中採取にしに行ったり、何時間もけんび鏡で調べたり、とてもがんばったので、手賀沼賞を受賞した時はとてもうれしかったです。

でも発表者に選ばれたと聞いた時は、たくさんの人の前で発表することが苦手なので不安に思いました。当日とてもきん張していましたが、前に出て名前を言ったとたんにきん張がなくなって、楽しんで発表が出来ました。この発表は自分にとってとてもいい経験になったと思います。

《特集》 手賀沼賞エコ・こども教室 2018

発表作品の紹介④

『ハスが手賀沼に及ぼす影響』
～ 微生物の観察による検証 ～

我孫子中学校 1年 赤津 沙耶花

➤作品のあらまし

手賀沼にハスが非常に繁茂していることから、ハスが手賀沼の水質にどのような影響を与えているかについて、微生物（プランクトンなど）を通して考えることにした。

予想ではハスが水中の養分を吸収するので微生物はいなくなると推定し、ハスの近くの水と比較するために3か所の水で実験し、観察した。

微生物の観察には顕微鏡を使い、一か所の水について5回、また日の間隔を空けて観察した。

➤作品の優れた点

前に調べた手賀沼の水質と目の前のハスの広がりについて関連付け、更に学校で学習した顕微鏡を活用して微生物の関わりについて観察するという思考の発展があるところは素晴らしいと思います。

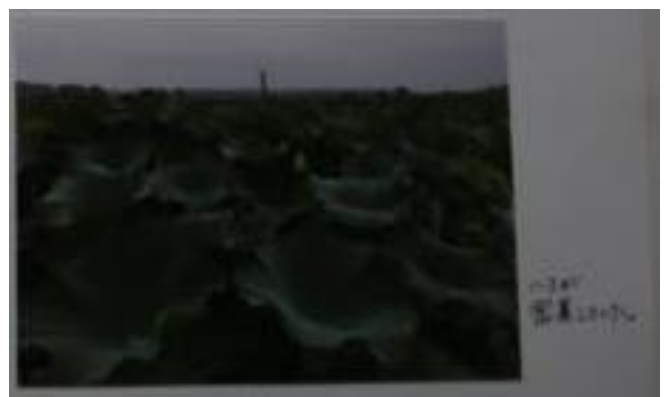
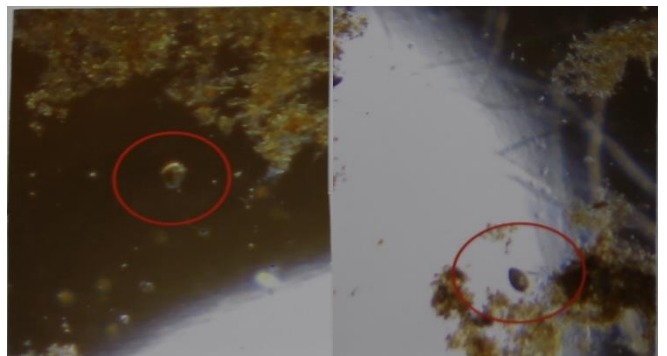
微生物の観察に当たっては条件を変えた3か所の水を使ったり、回数を増やしたりして偶然性を小さくしたりすることは良かったと思います。

観察の前に予想（仮説）を立て、それと比較し、一致しないことは反省点として考える態度も研究する上で大切なことだと思います。

➤推薦理由

植物による水の浄化作用について知識があったことからハスの大群落を見た時にハスを与える影響に関心を持ったという着眼とそれを研究してみようという探究心を持った行動力は素晴らしいと思います。今回は水質とハスとプランクトンの関係という大きなテーマの難しいチャレンジでした。学校で学んだ顕微鏡を使った点も良かったです。

推薦者：環境レンジャー 野倉 元雄



多くの人たちに聞いていただきました

《特集》 手賀沼賞エコ・こども教室 2018

発表作品の紹介⑤

『手賀沼の植物』
～ 9年目 集大成の夏 ～

湖北台中学校 3年 古川 希

➤作品のあらまし

手賀沼周辺に生育している植物について、小学1年生から9年間をかけて得られた調査結果を取りまとめた集大成と言える作品です。

今年は100種の植物の写真を撮り、採集可能な96種について標本を作成しました。それらの植物つき、科、属ごとに分類・整理して表にまとめました。さらに9年間に生育を確認した植物(238種)についても表にまとめて1年ごとの推移を示しました。また、帰化植物の占める割合を計算し、その推移をグラフで示しました。帰化植物の割合は2016年以降40%を超え、今年は43%でした。

➤作品の優れた点

9年間にわたり、手賀沼周辺に生育する植物の定点観察、採集、標本作成を継続しました。

生育場所での自然状態の写真を撮り、適正な方法で植物標本を作製し、台紙には標本番号、採集日、採集場所等のデータをきちんと記載しました。

今年の結果だけでなく、9年間に得られた結果を表に簡潔にまとめ、さらに帰化植物の推移をグラフ化してわかりやすく示しました。

➤推薦理由

9年間にわたり手賀沼周辺に生育している植物の同定および特性調査、記録、標本作製等を継続した熱意と努力に感服します。今年の結果を含め9年間の調査結果が表に、帰化植物の推移がグラフに示されています。これらはきわめて貴重なデータです。今後のさらなる活躍に期待します。

推薦者：環境レンジャー 吉川 和俊



「手賀沼賞エコ子ども教室の感想」

湖北台中学校 3年 古川 希

「9年間、そしてこれから…」

私は、幼い頃から植物に興味がありました。家が手賀沼の近くにあるという事もあり、小学1年生の時から毎年、手賀沼周辺に生育している植物で、標本を作ってきました。

年を追う毎に、色々な事に気づき、わかる様になり、そして今年、9年目を迎えました。

9年間に手賀沼周辺で生育を確認・採集できた植物は、55科238種に上り、標本の総個体数は、1000個体を超えました。

植物標本作りや同定作業、そしてそれらを集計して、帰化植物率を割り出し、そこから見えてくる事を考える…。大変な9年間でしたが、9年もの間、この自由研究を継続出来た事は、私の自信に繋がり、財産となりました。

でもこれは、私一人の力ではなく、私を9年間、協力し支えてくれた両親、発表などをご指導くださった学校の先生方あっての事です。この場をお借りして、御礼申し上げます。

義務教育最後の集大成の年に、4度目の手賀沼賞受賞、エコこども教室発表者に選出され、大勢の人達の前で発表する機会を頂けた事は、私や周りの人達への最高のギフトだと思っています。

発表の場は今年で最後ですが、私は今後ずっと、手賀沼の植物を調べていきたいです。



《特集》 手賀沼賞エコ・こども教室 2018

「手賀沼賞エコ・こども教室」ストリート編

（環境レンジャー 櫻井 潤）

朝から青空が広がる好天、雨天の昨年より出足が良さそうです。環境に係わる夏休み自由研究から選ばれた、口頭発表を行う5作品のパネルをストリートに展示、その中から出題したクイズに挑戦してもらいました。正解者には主に我孫子周辺に生息する野鳥カードのプレゼント。

ご両親とお子さん連れが多く、仲良く相談しながらの姿は微笑ましい光景です。発表会の招待状を貰った親戚の方とか、入賞した本人も来られるという嬉しい一コマもありました。中には野鳥カードをもう1枚ゲットしたいと、もじもじしながら小声で「もう一回挑戦したい」と訴える子供もいて、純真さを感じさせられました。

そして今年のボランティア活動、お友達同士で12名も来てくれ、採点やクイズ呼び込みのお手伝いは大助かりです。クイズはパネルを読んで・知って・理解してもらい、環境を大切にしたい日々を願う工夫からですが、難しいテーマなのに406名もの方々が来てくれて感謝です。来年も環境に取り組む君達に逢えるのが楽しみです。



クイズに挑戦中！



野鳥カードどれにしようかな



ボランティアありがとう

環境レンジャー活動報告（環境学習）

2018 市民のチカラまつり

（環境レンジャー 谷内 トヨ子）

9/22(土)、23(日)の両日、環境レンジャーは今年初めて「市民のチカラまつり」に参加しました。前夜降り続いた雨もあがって好転の兆しが見え、オープン間際はポチポチだった来場者も徐々に増えて会場がにぎやかになってきました。スタンプラリーを設けた環境レンジャーのブースにも家族連れや子供たちや年配の方が立ち寄ってくれました。スタンプを押す傍ら、準備していた「生物関連付けクイズ」にも挑戦し楽しんでいただきました。両日合わせて予想を遥かに超える363名の方が参加して下さり嬉しい限りです。

生物関連付けクイズは、昆虫の成虫と幼虫や果物の花と実、ドングリとその葉など関連のあるものどうしを線で結ぶというもので、最初は眺めていただけの家族連れの親御さんも興味しんしん俄然やる気になったり、お年寄りの方も興味を持って挑戦してくださいました。子供も大人も知的刺激を誘うクイズはお好きなようです。

ある主婦の方がリンゴやナシの花が白い事は判るけど二つ並べるとどっちがどれやらと首をひねっておりました。花卉の数や形までを日ごろは注意して見ていないかもしれませんね。「これからは良く見てみるわ。ありがとう。」と帰られました。

ドングリと称するものの種類は多く、ドングリの形と葉を結びつけるのはかなり高度な問題でしたが、「これ夏休みの自由研究にしたからわかるんだ。」とすらすらと正解を出した小学生の女の子にスタッフ一同感心してしまいました。

身近なものに少しでも興味を示していただけることが環境にも繋がっていくと思います。環境レンジャーは今後も市民のチカラまつりに参加していく所存です。



みんな真剣です(^)/

環境レンジャー活動報告（ネイチャーイン）

秋の谷津ミュージアム自然観察と谷津まつり参加

（環境レンジャー 渡邊 茂実）

手賀沼沿いの自然環境が残されており、様々な生き物を育む岡発戸・都部の谷津の自然に親しむ観察会が催されました。10/20(土)天候快晴、一般参加9名(内児童1名)、環境レンジャー6名、案内は環境レンジャーOBの染谷さんです。東我孫子駅前を出発、遠くモズの高鳴きを聞きながら早速観察開始です。

谷津ミュージアム入口から成田線側の農道を進むと、かつては葦原だった場所にオギやススキ群生しています。オギとススキの見分け方は「オギにのぎ無し、ススキにのぎ有り」。ススキの小穂には「のぎ」という鼻毛のような線上突起があるそうです。トンボが群れて飛び交っています。アキアカネとナツアカネの違い、トンボのやさしい持ち方などを教えてもらいます。

足元には沢山のドングリが落ちていました。シイ、コナラ、マテバシイ、シラカシの違いや、スダジイ、マテバシイ、クリなどは食べられ、コナラ、クヌギなどは食べられないことを教わります。我孫子で唯一の天然記念物ヒカリモ(光藻)の生育地を過ぎ、赤いガマズミの実を見つけました。まだ酸っぱいですが食べられます。皆戸惑いながらも口にして歓声があがりました。

終着地の作業小屋には大勢の人が集まり「谷津まつり(収穫祭)」の真最中です。私達も飛び入り参加で、お赤飯やトン汁をふるまってもらいました。清らかなコカリナの合奏を聞きながら、うららかな野原での贅沢な昼食になりました。一時間半ほどでしたが、好天に恵まれたのどかな散策でした。



のどかに散策中！



トンボのやさしい持ち方！



みんなでパチリ！

環境レンジャー活動報告（環境学習）

環境工作バードフィーダー作り

（環境レンジャー 渡邊 茂実）

12/15(土)水の館研修室でバードフィーダー作りを開催しました。バードフィーダー作りは昨年続き2回目です。バードフィーダーとは鳥の餌台のことで庭先などに野鳥を呼ぶ仕掛けです。餌はヒマワリの種(小粒)や殻つきの穀類などを使います。今回は12名(内児童6名)の参加がありました。材料は使用済みのペットボトルと牛乳などの紙パックです。

まずは簡単なペットボトルから始めます。ペットボトルには、止まり木になる割りばしを通す穴、野鳥が餌をついばむ穴、底に排水用の穴を何か所か開けます。次に割りばしを差し込み、吊り紐をつければ完成です。子供たちは資料や見本を見ながら、キリ、ハサミ、カッター等を器用に使い、上手に作業をすすめます。可愛いシールで飾り付けて、綺麗なバードフィーダーに仕上げた子供もいます。

続いて紙パックに取り掛かります。こちらは少し難しく、パックを切り抜き足場を作ります。切り方を間違えると形になりません、それでも楽しみながら作業をすすめることができました。

参加者からは「どこに吊るせばいいの?」「餌は何をどこで買うの?」という質問や「シジュウカラやメジロがくるといいな」「餌は古くならないように、こまめに換えてあげるよ」「参加しておもしろかった」などの声が寄せられました。これから冬に向かい野鳥の餌が少ない気節になります。餌を入れて庭先に吊るしてもらい、集まってきた野鳥の観察を楽しんでいただけたらと思います。



特定外来種(ナガエツルノゲイトウ)駆除報告(1)

市民団体が大活躍！

（環境レンジャー 間野 吉幸）

手賀沼のナガエツルノゲイトウ（以下「ナガエ」）等は手賀大橋上流では両岸にびっしりと繁茂し、その勢いは手賀沼大橋の下流域にも拡大して来ています。最近ではオオバナミズキンバイ（以下「オオバナ」）という繁殖力の強い特定外来植物がナガエに寄り添う形で勢力を急拡大しています。これら特定外来植物は、既存の植物の生態系を崩すだけでなく、舟の航行、排水への被害が出ており、将来洪水や農業へ害を及ぼす恐れがあり、緊急防除対策が急務であります。そのような現状を踏まえ美しい手賀沼を愛する市民の連合会（以下「美手連」）は、千葉県柏土木事務所に声を掛け、柏市建設業会と共に手賀沼自然ふれあい緑道にかかる大津川ヒドリ橋付近でナガエ等の駆除作業を11/31に実施しました。



クレーン車も大活躍
（写真提供：長原邦子さん）



トラックへの積み込み
（写真提供：長原邦子さん）



駆除作業後

主催元の美手連、柏市建設業会の他、行政、研究者など57名が参加し駆除作業を実施しました。前日に外来水生植物の流れ防止ネット張り、作業安全のためのトラロープ張りなど事前準備をした後、作業に入りました。作業は絨毯(じゅうたん)のように繁茂しているナガエを鎌などで切断し、モッコに積み込みクレーンで吊り上げトラックに積み込む作業を繰り返しました。川は途中から深くなっており、足元が泥の中に潜り込むなど悪い環境の中の作業でした。そこでゴムボートが活躍し沖のナガエを重機吊り上げ場まで押し寄せで安全確保と作業効率を上げることが出来ました。

右岸の作業が終了すると左岸の作業に移りました。左岸には厄介なオオバナがありました。また作業の途中で流れた茎などは網ですくい取り下流に流さないようにしました。

この作業で駆除した量は、トラック4トン車で4台、3トン車で4台、計8台。28トンでした。このナガエ等は一時仮置き場に保管され乾燥後焼却処分されます。このボランティア作業に参加された皆様、大変お疲れ様でした。

行政による本格的な駆除対策が必要であると感じたナガエの駆除活動でした。

特定外来種(ナガエツルノゲイトウ)駆除報告(2)

第28回手賀沼ふれあい清掃

（環境レンジャー 荻野 茂）

12/2(日)曇り空のもとで第28回手賀沼ふれあい清掃が実施されました。年々増え続けるナガエツルノゲイトウの駆除を昨年に引き続きボーイスカウト(我孫子第1、第2団)とガールスカウト(千葉45団)の総勢約100人で取り組みました。昨年、竹べらだけの駆除に苦労したことを踏まえ大小のシャベルと鎌が追加され、根こそぎ駆除する意気込みで作業を開始しました。

スカウト達は、この厄介者を竹べらやシャベルを使って根を切らずに掘り起こそうとしますが竹べらでは限界で、あっちこっちから鎌を持つ指導者に応援の要請がかかりました。

強者のスカウトが、動きそうな護岸石をずらして根こそぎ駆除しましたが、動かせる護岸石はほとんどありません。抜本的な対策を講じない駆除は困難なほど蔓延している状況でした。



駆除道具の説明



みんなの力は素晴らしい！



石の根っ子の駆除

環境レンジャーのこれからの予定(詳しくは「広報あびこ」を見てね!)

参加費は、すべて無料です。

お申し込み、お問い合わせは、我孫子市手賀沼課(04-7185-1111(内線468))まで

環境レンジャーサポーター募集中! ～一緒に活動してみませんか～

我孫子の自然環境を紹介し、環境に対する気持ちを育てていく、我孫子市環境レンジャーの活動に興味のある方を“環境レンジャーサポーター”として、募集しています。

(主な活動内容)

- ・子ども向け環境学習のサポート(5～8回/年)
- ・ネイチャーイン活動のサポート(4回/年)
- ・もちろん可能な範囲のご参加も大歓迎です。

(対象・定員)

- ・特に制限はありません

(お問合せ)

我孫子市役所
手賀沼課手賀沼担当
☎ 04-7185-1484



平成31年1月27日(日)

ネイチャーイン手賀沼船上冬鳥観察会



たくさんの水鳥が集まる手賀沼の冬は野鳥観察のベストシーズンです。船上からの探鳥では陸からの探鳥と全く違った景色が満喫できます。多くの野鳥に出会えるでしょう。猛禽類のミサゴやかわいいカワセミの姿も見られるかもしれません。我孫子野鳥を守る会との共催です

時間：午前10時～11時頃

場所：手賀沼公園(ボートの小池前)集合

今回の特集「手賀沼賞エコ・こども教室2018」手賀沼賞の受賞作品を発表してくれたみなさま堂々と自信をもった発表風景でした。



発表を終えほっとした様子の発表者の方々

平成31年2月17日(日)

(環境学習)紙飛行機工作と飛行大会



大人気!の紙飛行機工作と飛行大会。

みんなで「スーと飛ぶ飛行機」「ふわふわ飛行機」「曲技飛行機」など作って、仕上げは一緒に飛ばして遊ぼうね。ビックリするほど飛ぶよ!

時間：午後1時30分～3時30分

場所：アビスタホール

傷害保険代(50円)が必要です。



《編集後記》

今年のエコ・こども教室の発表作品もまた、どれも力作ぞろいで感動しました。また、今回は特に継続して取り組む皆さんの姿勢に思いの強さを感じました。まだまだ、自然の多い手賀沼!みんなで守っていきましょう。『たまっけ』へのご意見、ご感想お待ちしております。

(環境レンジャー 継岡 伸彦)